

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-139754  
(P2000-139754A)

(43) 公開日 平成12年5月23日 (2000. 5. 23)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

キーワード (参考)

A 4 7 K 5/12

A 4 7 K 5/12

A 3 E 0 1 4

B 6 5 D 47/34

B 6 5 D 47/34

D 3 E 0 8 4

83/76

83/00

K

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平10-330188

(22) 出願日

平成10年11月5日 (1998. 11. 5)

(71) 出願人 598160395

西尾 正美

静岡県沼津市大岡787番地の12

(72) 発明者 西尾 正美

静岡県沼津市大岡787番地の12

Fターム (参考) 3E014 PA01 PB03 PB08 PC03 PD11  
PE21

3E084 AA04 AA12 AA24 AB01 BA02

CA01 CB02 CC03 DA01 DC03

FB01 GA04 GB04 KB02 LB02

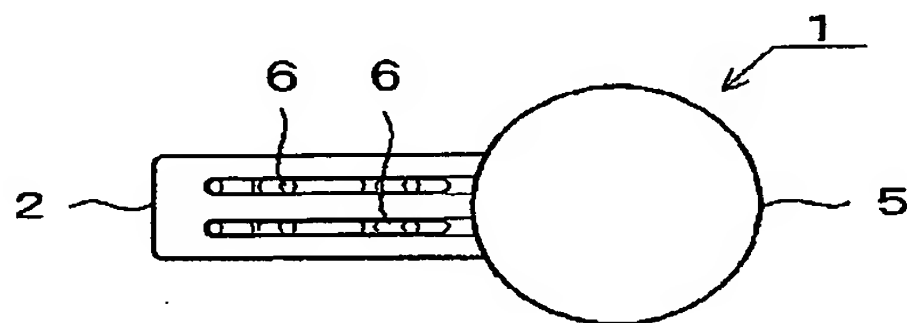
LB07 LC01 LD22 LE11

(54) 【発明の名称】 ポンプ容器の吐出量制限具

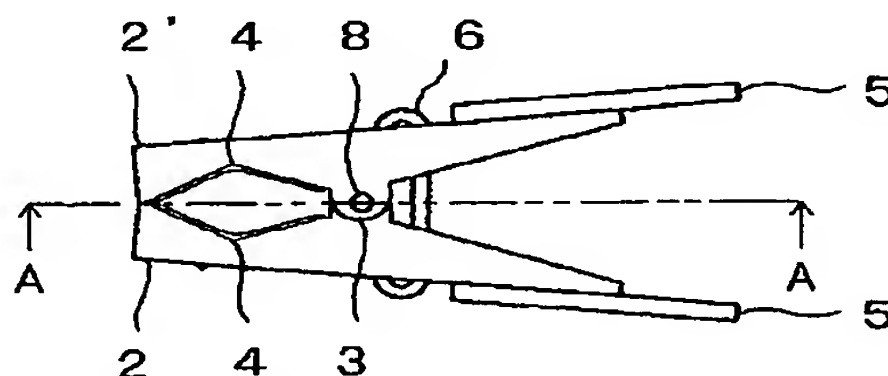
(57) 【要約】

【課題】 ポンプ容器の内容物の吐出量を約1/2~1/3に減少させることにより内容物や水の無駄使いをなくすと共に、子供が使用する場合でも容易に挟着でき見た目にも可愛らしく洗浄する意欲を高めることができるポンプ容器の吐出量制限具を得る。

【解決手段】 洗濯挟み様の2枚の挟着片の各支点部を嵌合し、バネに係着して2枚の挟着片を一体化する。該2枚の挟着片の先端側には挟着部を構成し、他端側には押開片を配設する。また、該2枚の挟着片の挟着部には注出ノズルのネジ部のネジピッチと同一の螺合溝を成形し、若しくは注出ノズルのネジ部を噛合するような適度な弾力および摩擦力を有した弾力素材を配設する。さらには押開片の表面に子供が好むキャラクター等を描く。



(a)



(b)

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 洗濯挟み様の2枚の挟着片(2, 2')の各支点部(3)を嵌合し、バネ(6)を係着して2枚の挟着片(2, 2')を一体化し、該2枚の挟着片(2, 2')の先端側には挟着部(4)を構成し、該2枚の挟着片(2, 2')の他端側には押開片(5)を配設して成ることを特徴とする、ポンプ容器の吐出量制限具。

【請求項2】 前記挟着部(4)に、注出ノズル(15)のネジ部(14)のネジピッチと同一の螺合溝(9)を成形したことを特徴とする請求項1に記載の、ポンプ容器の吐出量制限具。

【請求項3】 前記挟着部(4)に、注出ノズル(15)のネジ部(14)を噛合するような適度な弾力および摩擦力を有した弾力素材(10)を配設したことを特徴とする請求項1に記載の、ポンプ容器の吐出量制限具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、シャンプーやリンス等の液状物を収容するポンプ容器の注出ノズルのネジ部に装着し内容物の吐出量を制限するための制限具に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来より、家庭内の浴室等で使用されるシャンプーやリンス若しくは液状石けん等の収容具として、ポンプ式の容器が広く使用されている。該容器は、キャップの中心部より容器内部にかけてポンプ機構を配設し、さらにキャップの上部に注出ノズルを配設し、該注出ノズルを手のひらで押し下げることにより内容物を注出するものである。押し下げストロークは、内容量が700cc以上の徳用タイプのもので約15～18mmのものが一般的であり、その吐出量は約3ccである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記吐出量は製造元で予め決められた量であり、その量が最適であるか否かは各使用者の状態により異なるものである。例えばシャンプーの場合、使用者が子供であったり髪が少ない人であればその量は多すぎ、汚れがひどかったり髪が多い人であればその量は少なすぎる。多すぎる場合にはシャンプーを容器に戻すことができないためそのまま使用することになり、内容物の無駄使いになっていた。さらには濯ぎをする場合でも多くの水を使用することになり、水の無駄使いにもなっていた。

【0004】注出ノズルの押し下げストロークを加減して途中で停止させるようにすれば、3ccより少ない量を注出することができるが、力加減が難しいため希望する量を注出することはできなかった。特に、使用者が年少の子供の場合には不可能に近かった。

【0005】本発明は、以上のような問題点に鑑み成さ

れたものであり、ポンプ容器の内容物の吐出量を約1/2～1/3に減少させることにより内容物や水の無駄使いをなくすと共に、子供が使用する場合でも容易に挟着でき見た目にも可愛らしく洗浄する意欲を高めることができるポンプ容器の吐出量制限具を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明のポンプ容器の吐出量制限具においては洗濯挟み様の2枚の挟着片の各支点部を嵌合し、バネを係着して2枚の挟着片を一体化する。上記2枚の挟着片の先端側には挟着部を構成し、他端側には押開片を配設する。また、上記2枚の挟着片の挟着部には注出ノズルのネジ部のネジピッチと同一の螺合溝を成形し、若しくは注出ノズルのネジ部を噛合するような適度な弾力および摩擦力を有した弾力素材を配設する。

## 【0007】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を図を用いて説明する。図1は本発明のポンプ容器の吐出量制限具の外形図であり(a)は正面図(b)は平面図である。本発明のポンプ容器の吐出量制限具1は洗濯挟み様の2枚の挟着片2, 2'の支点部3を嵌合し、バネ6を係着して2枚の挟着片2, 2'を一体化する。図1では挟着片2の支点部3(図示せず)は凸状で、挟着片2'の支点部3は凹状であり、各支点部3にはピン8を挿入するための穴7がある。そして、該穴7にピン8を挿入して2枚の挟着片2, 2'を一体化している。図1では2本のバネ6を使用しているが、適度な強度が得られればどのような数量であっても構わない。また、支点部3の嵌合方法もピン8を使用しないで凸状支点と凹状支点とを単に組合わせて嵌合するなどどのような方法であっても構わない。

【0008】上記2枚の挟着片2, 2'の先端側には挟着部4を構成し、該2枚の挟着片2, 2'の他端側には押開片5を配設する。図1では対向する挟着部4が直線的な、く字状となっているが、丸みを持たせても構わない。押開片5は子供でも容易に吐出量制限具1を押し開いてポンプ容器11に挟着できるようにするため、大きな円盤状となっている。そして、該押開片5の表面に子供が好むキャラクター等を描けば見た目にも可愛しくなる。なお、該押開片5の形状や大きさおよびそこに描く内容はどのようなものであっても構わない。また、立体的な構造であっても構わない。

【0009】図2は図1におけるA-A断面図で挟着部に注出ノズルのネジ部のネジピッチと同一の螺合溝を成形したものであり、該螺合溝9が注出ノズル15のネジ部14と確実に螺合することで吐出量制限具1がぐらつくことがなくなる。該螺合溝9は挟着片2, 2'の材料と同一に成形したり、成形金具を埋め込むように配設しても良い。

【0010】図3は図1におけるA-A断面図で挟着部に弾力素材を配設したものであり、該弾力素材10が適度な弾力および摩擦力を有しているため注出ノズル15のネジ部14を噛合することで吐出量制限具1がぐらつくことがなくなる。該弾力素材10としては軟質ゴムや軟質樹脂が好ましい。

【0011】

【実施例】本発明の実施例を図を用いて説明する。図4は本発明のポンプ容器の吐出量制限具をポンプ容器に挟着する前の状態および挟着手順を示した図である。図4では注出ノズル15の押し下げストロークはL1であり、一般的には約15～18mmである。ここで、ポンプ容器11に吐出量制限具1を挟着するには吐出量制限具1の押開片5を押して挟着片2、2'の先端部を開かせる。注出ノズル15のネジ部14の径はステム13より太くそのままではネジ部14を挟着し難いため、ステム13に挟着片2、2'の挟着部4を通した後上に引上げてネジ部14に吐出量制限具1を挟着する。

【0012】図5は本発明のポンプ容器の吐出量制限具をポンプ容器に挟着した後の状態を示した図である。図5において吐出量制限具1の幅をL3とし、該幅の分だけ押し出しストロークが制限を受けることになり、L1よりL3を引いたL2がこの場合の押し出しストロークになる。注出ノズル15のネジ部14において、ステム13とは反対側の注出ノズル15の付け根側のネジ部14はキャップ12内には完全には挿入できず約4mm程の空間がある。このため、吐出量制限具1の幅L3を約12mmにすればL2は約7～10mmとなり、図5においてポンプ容器11の吐出量を約1/2に制限することができる。また、吐出量制限具1の挟着位置をずらしながら調節すれば約1/3まで制限することが可能である。

【0013】上記のようにしてポンプ容器11に本発明の吐出量制限具1を挟着すれば、例えば内容量が700cc以上の徳用タイプのポンプ容器11のもので制限値を約1/2に設定した場合、少量の用途には注出ノズル15を1回押し下げることにより約1.5ccの内容物を注出することができる。また、通常の用途には注出ノズル15を2回押し下げることにより約3ccの内容物を注出することができ、多量の用途には注出ノズル15を3回押し下げることにより約4.5ccの内容物を注出することができる。

【0014】

【発明の効果】以上述べたように、本発明のポンプ容器の吐出量制限具をポンプ容器の注出ノズルのネジ部に挟着することにより、下記のような効果を奏することができる。

①ポンプ容器の内容物の吐出量を約1/2から1/3に減少させることができるため、例えばシャンプーの場合に子供や髪が少ない人など使用量の少ない人でも無駄なく注出することができる。

②内容物の使用量が適正な量となるため、濯ぎ等に使用する水の量を減らすことができる。

③押開片を大きくしてあるため、子供でも容易に挟着や調整をすることができ、該押開片に子供が好むキャラクター等を描けば見た目にも可愛らしいため洗浄する意欲を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のポンプ容器の吐出量制限具の外形図であり(a)は正面図(b)は平面図である。

【図2】図1におけるA-A断面図で挟着部に注出ノズルのネジ部のネジピッチと同一の螺合溝を成形したものである。

【図3】図1におけるA-A断面図で挟着部に弾力素材を配設したものである。

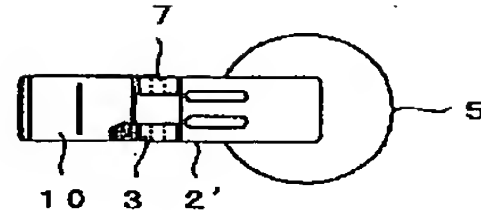
【図4】本発明のポンプ容器の吐出量制限具をポンプ容器に挟着する前の状態および挟着手順を示した図である。

【図5】本発明のポンプ容器の吐出量制限具をポンプ容器に挟着した後の状態を示した図である。

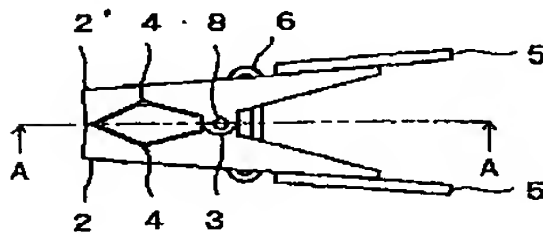
【符号の説明】

- 1 吐出量制限具
- 2 挟着片
- 3 支点部
- 4 挟着部
- 5 押開片
- 6 バネ
- 7 穴
- 8 ビン
- 9 螺合溝
- 10 弾力素材
- 11 ポンプ容器
- 12 キャップ
- 13 ステム
- 14 ネジ部
- 15 注出ノズル

【图3】



(b)



【※5】

